



「世界てんかんの日2019」記念イベント 2会場で実施しました。

医療講演会

- ◇ 日時：2月11日(月・祝) 午後2時～午後4時
- ◇ 会場：ホテルフクラシア晴海(港区)

国際てんかん協会(IBE)と国際抗てんかん連盟(ILAE)が2月の第2月曜日に定めた「世界てんかんの日(IED)」(今年は、2月12日)を記念し、日本でも4年目となる記念のイベントをホテルフクラシア晴海で実施しました(参加者:65名)。

この事業は、当協会と日本てんかん学会の共催で企画・実施し、てんかん治療研究振興財団、全国てんかんセンター協議会が後援する、国内の主なてんかん関連全国組織すべてが関与する

事業です。

また、今年も昨年に引き続き、(株)東京タワー(昨年、東京タワー開業60周年を迎え社名を日本電波塔(株)から変更)の理解を得て、東京タワー(2F)イベントスペースで、世界てんかんの日を周知するとともに、てんかんの正しい情報を見聞きしてもらう啓発展示を行い、多くの東京タワー来場者が立ち寄ってくれました。

※「世界てんかんの日」は、一般社団法人日本記念日協会に公式記念日として登録されています。

イベントの内容(敬称略)

- 開会あいさつ 「世界てんかんの日」
岡本 朗(公益社団法人日本てんかん協会 常務理事)
- 医療講演①「てんかんは治る病気です」
池田 昭夫(一般社団法人日本てんかん学会 理事長)
- 来賓あいさつ(行政報告)
「日本におけるてんかん施策」
堀川 春男(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課 心の健康支援室室長)
- 医療講演②「高齢者のてんかん」
寺田 清人(一般社団法人日本てんかん学会 事務担当理事)
- 世界からこんにちは(同時中継)
「私たちも取り組むてんかん運動」
インドてんかん学会理事長
- てんかんのある人たちからのメッセージ
「てんかんとともに生きる」
森 彩香(てんかんのある本人)
- 閉会あいさつ・アピール「てんかん宣言」
梅本 里美(公益社団法人日本てんかん協会 会長)

当日は、医療講演で正しい知識を普及させるとともに、当事者・家族からのメッセージが感動を呼ぶ講演会となりました。また、この事業を後援している厚生労働省から、昨年に引き続き根本匠厚生労働大臣から祝辞を受け、今後さらな

る発展が期待できるイベントでした。この他に、松本純衆議院議員を始め多くの皆さまから祝電をいただきました。

皆さまにこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。

東京タワー・記念啓発イベント



東京タワー・フットタウン(2F)イベントスペースにて、10日・11日の2日間、10時～17時まで啓発活動を行いました。てんかん運動マスコット



トキャラクターあかりちゃんや顔出しパネルでの記念撮影、てんかんに関するパネル展示、資料提供、記念品(缶バッジ・風船など)を配りました。



◆記念日専用のサインを作成しました。

毎年2月の第2月曜日が「世界てんかんの日 (IED)」であることを、皆さんの記憶にとどめてもらうPR用のサインが完成しました。世界共通のIEDのロゴマークとマスコットキャラクター“キャンピー”を全体にちりばめ、インスタ映えするスカイブルーのデザインが目を引くものとなっています。

◆おくすり手帳を参加者に配布しました。

てんかんのある人に役立つオリジナル「おくすり手帳 (カバー付)」を、2018年度の宝くじ社会貢献広報事業の助成を受けて作成したものです。ご活用ください。

